

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0240/350515/08/04		事業の種類	4		
年度	19	事務事業名	マリンスポーツ事業委託料事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	3
予算事業名	観光振興事業		担当部課名	産業振興課			
政策名	にぎわいと活気のあるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
施策名	商業・サービス業・観光						
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	海洋スポーツを通して市民相互の交流を活発にする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生ペーロン祭において、海洋スポーツの魅力を市民に知ってもらうため、あいあいマリンスポーツ大会を実施するとともに、海洋スポーツの普及活動を行う。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	参加者数	人	325	364	517	573

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.001	0.001	100.0	0.001		0.001	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	967,484	722,232	74.7	748,286	103.6	706,184	94.4	
	事業費	300,000	300,000	100.0	300,000	100.0	300,000	100.0	
	合計	1,267,484	1,022,232	80.7	1,048,286	102.5	1,006,184	96.0	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,267,484	1,022,232	80.7	1,048,286	102.5	1,006,184	96.0	
	合計	1,267,484	1,022,232	80.7	1,048,286	102.5	1,006,184	96.0	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		あいあいマリンスポーツ大会							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	350	350	100.0	350	100.0	500	142.9	
	実績	325	364	112.0	517	142.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

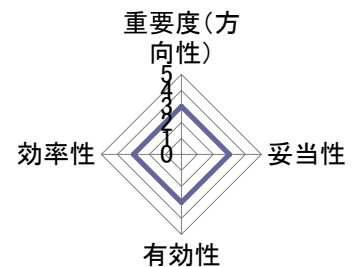
指標名1		あいあいマリンスポーツ参加者一人あたりの開催経費							
指標説明(式)		開催費／あいあいマリンスポーツ参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	923	824	89.3	580	70.4	524	90.3	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	海洋スポーツへの関心は高く、参加者は増加傾向にあるが、観光的観点からの必要性は、薄れている。	3	3
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年参加者は増加しており、目標は達成出来ているが、観光的観点からの必要度自体が薄れている。	3	3
効率性	コストの節減	委託料については事業精査により削減済。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	海洋スポーツへの関心は高く、参加者は増加傾向にあるが、観光的観点からの必要性は、薄れており、事業のあり方の検討を行う。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	海洋スポーツへの関心は高く、参加者は増加傾向にあるが、観光的観点からの必要性は、薄れており、事業のあり方の検討を行う。
H19→H20予算反映額		△50千円

(2) 20年度の実施方針

事業を継続しながら、事業のあり方について、その必要性・コスト削減の検討を行う。

検討の有無	-
総合指標	16.5